

平成17年度秋期
初級システムアドミニストレータ試験
(AD)

出題のねらいと試験結果の講評
(午後試験を中心として)

IPA / 情報処理技術者試験センター

講師

■ 白井 靖人氏

□ 静岡大学 情報学部 情報科学科 助教授

□ 情報処理技術者試験委員

□ プロフィール

1989年～ 東京大学理学部助手

1990年～ 静岡大学教育学部助教授

1995年～ 静岡大学情報学部助教授

試験の対象者像

利用者側において、情報技術に関する一定の知識・技能をもち、部門内又はグループ内の情報化を利用者の立場から推進する者

- “AD=第3種”ではない。
- 情報技術を扱うのが本職ではないが…
 - 本来の仕事については一人前
 - 利用者としての眼は確か

出題形式

	午前	午後
試験時間	150分	150分
出題形式	多肢選択式	多肢選択式
出題数 / 解答数	80 / 80	7 / 7
配点(比率)	IRTによる	10% × 4 20% × 3

午前の出題範囲

コンピュータシステム	
システムの開発と運用	
セキュリティと標準化	
情報化と経営	

- ・ は出題範囲であることを， は出題範囲のうちの重点分野であることを表します。
- ・ ， ， は技術レベルを表し， が最も高度で， は及び を， は を包含します。

午後試験の出題範囲

1. 仕事とコンピュータに関すること
2. 基幹業務システムとのかかわりに関すること
3. エンドユーザコンピューティング(EUC)に関する
こと
4. システム環境整備と運用管理に関すること
5. 情報化推進のための表現能力に関すること

午前試験の出題方針(1/2)

- 利用者側の情報技術に係わる人材として、基本的かつ実践的な一定の知識を有していることを求めている。
- 「システムの開発と運用」のウェイトがやや高い。「情報化と経営」も重点分野。これら2分野から5割前後を出題する。
- IT分野は変化が激しい。新技術や、新しい動向についても出題する。

午前試験の出題方針(2/2)

- 4分野の出題レベルは だが、業務の遂行に知識を活かせることが求められる。さらに、普段から新しい動向などについて関心を持っていることが期待されている。
- 情報化を推進する立場から、プレゼンテーション能力や表現技術についても出題する。

午後試験の出題方針(1/2)

- 情報システムを利用する立場や環境を考慮した出題としている。実務における与えられた課題に対して、学習した内容をいかに適用し、ADとしての業務を遂行することができるかどうかを評価する。
- 情報システムやネットワークの技術発展は著しい。このような新しい技術に関する分野からも出題する。

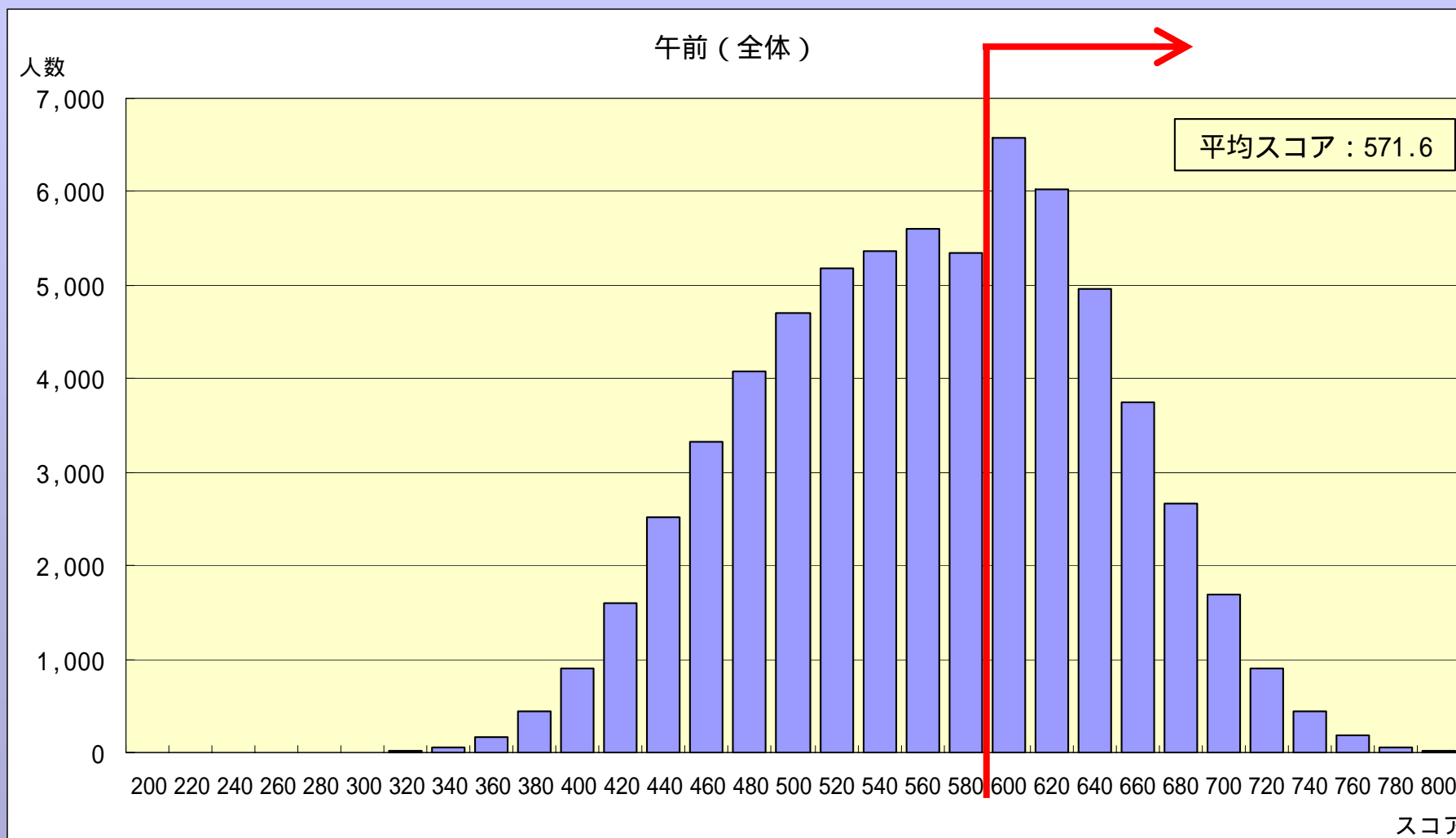
午後試験の出題方針(2/2)

- システム思考, 情報システムの開発支援・整備運用, プレゼンテーション及び表現に関する技術を基に, ADとして, 情報技術を活用した業務改善や情報システムの基盤整備等の情報化を推進する, 幅広い能力が求められる。
- このような知識・技能や, それらの応用力・判断力を測る問題を出題する。

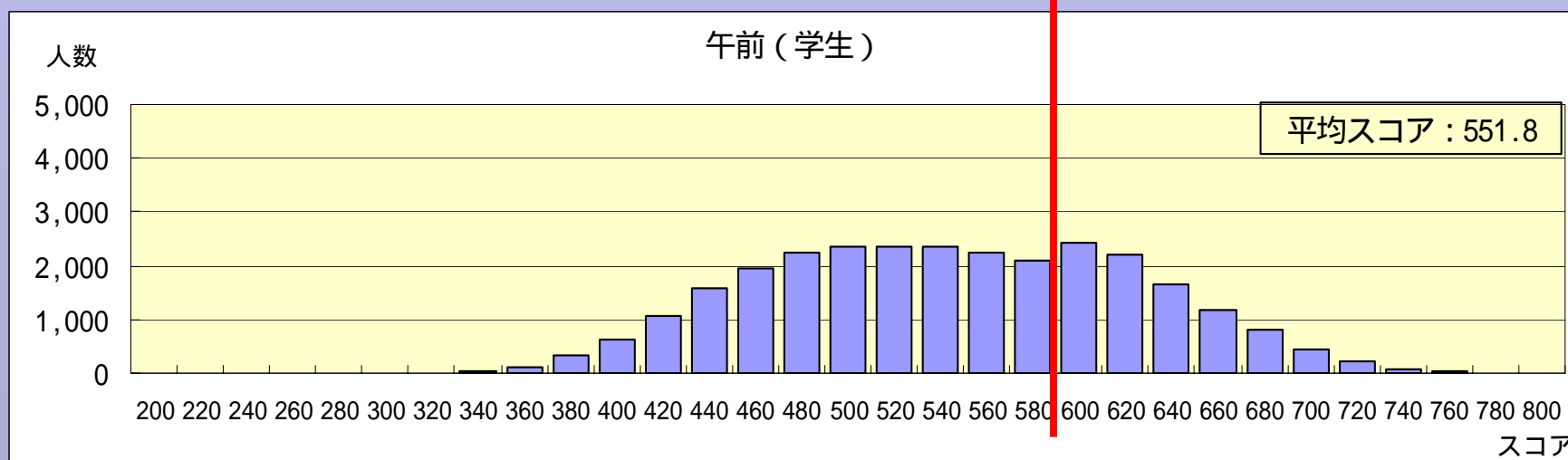
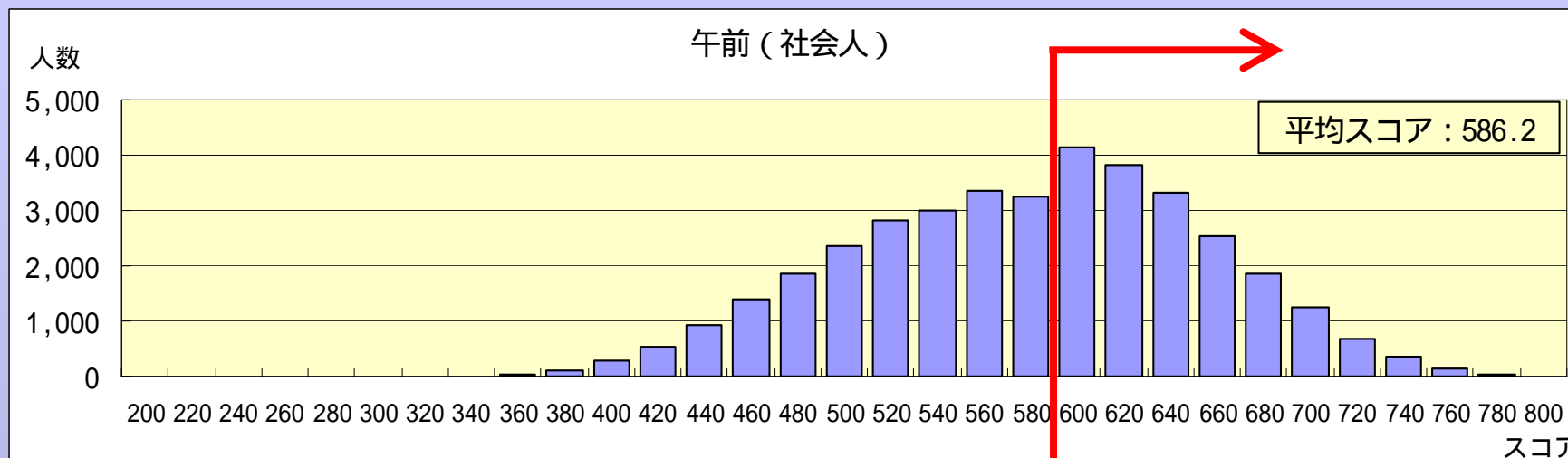
平成17年度秋期試験結果(全体)

応募者数		89,525名	
受験者数		66,597名	A
午前	採点対象者数	66,526名	40.9%
	スコア600点以上	27,227名	
午後	採点対象者数	65,259名	45.1%
	スコア600点以上	29,402名	
合格者数		18,257名	B
合格率		27.4%	B/A

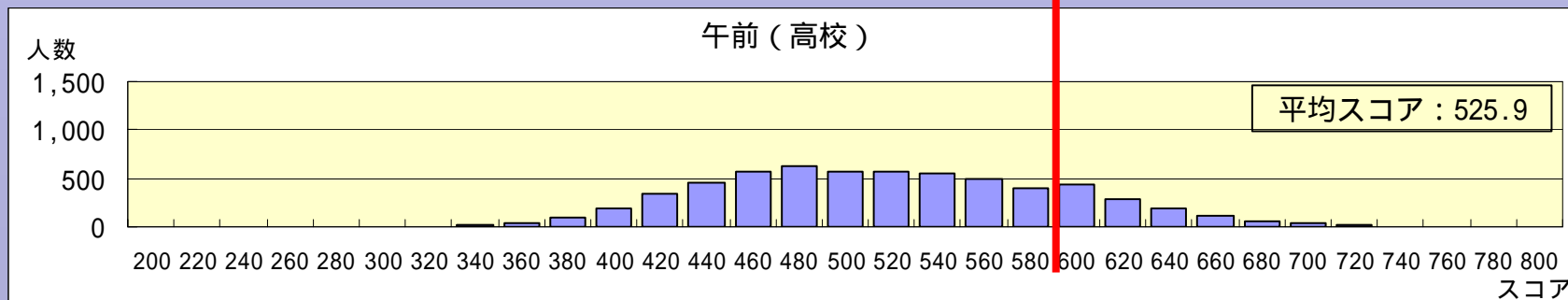
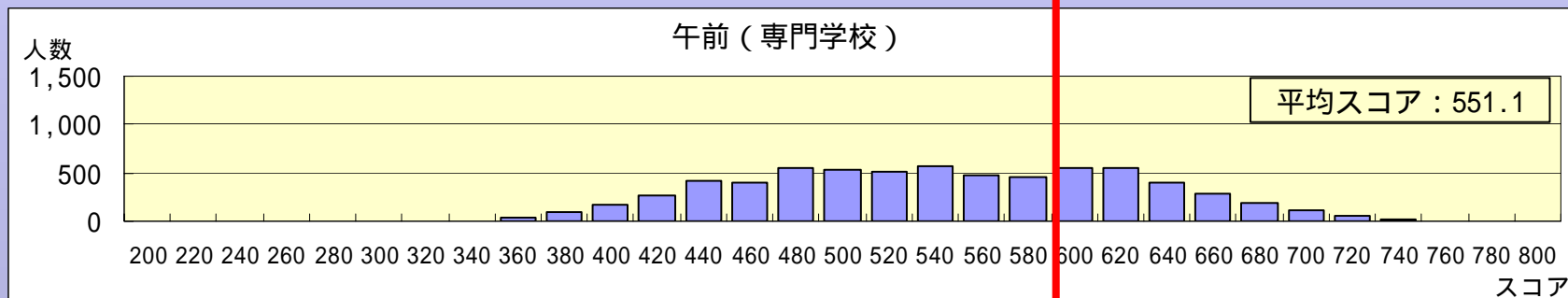
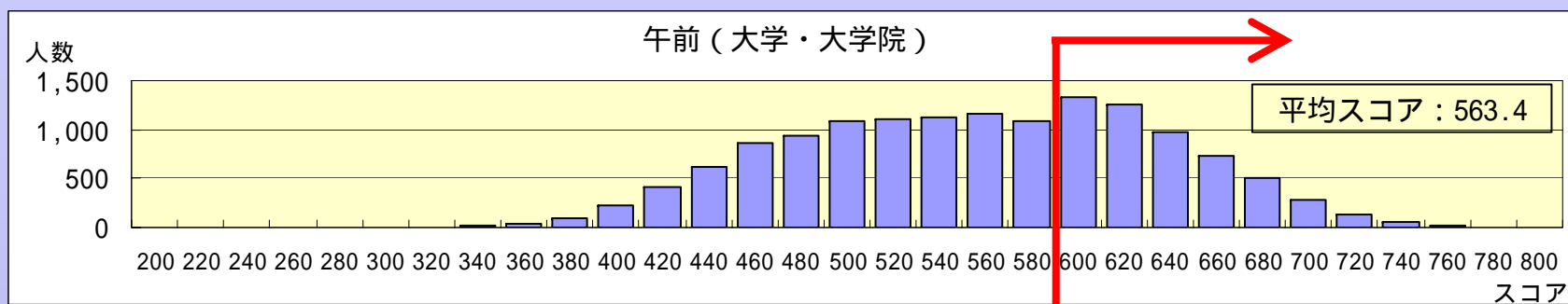
午前試験のスコア分布(全体)



午前試験 (社会人/学生・生徒)

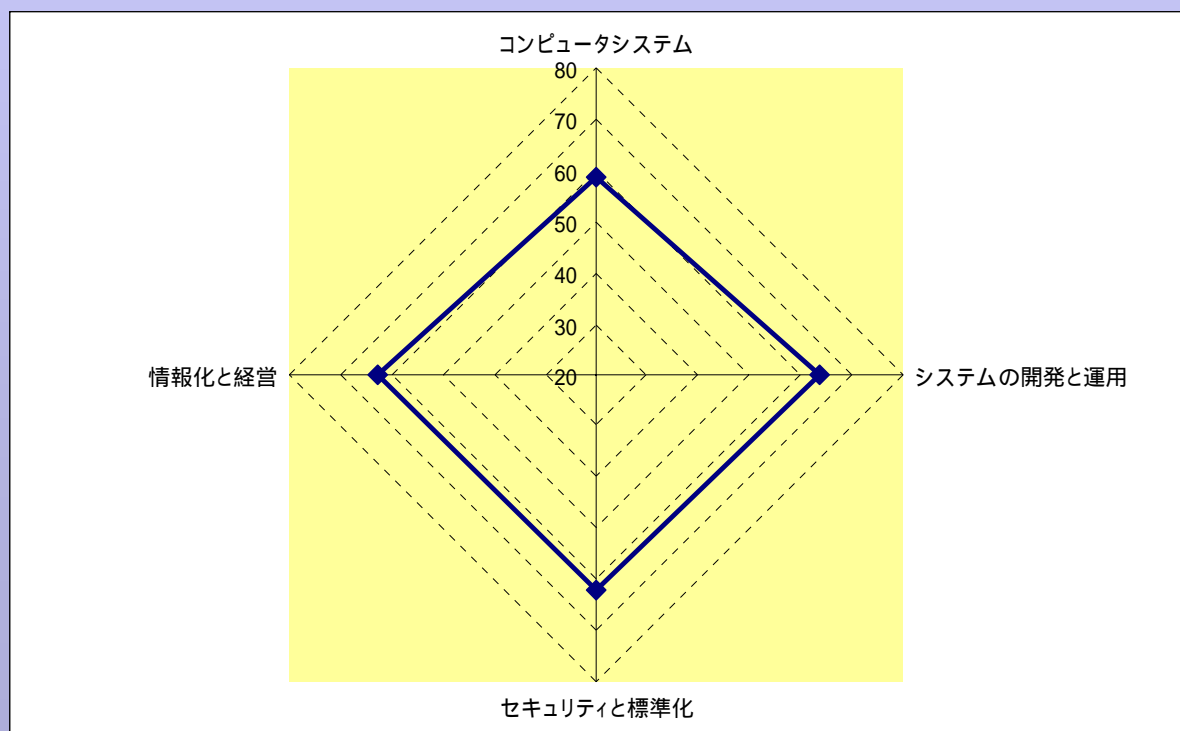


午前試験 (大学生/専門学校生/高校生)

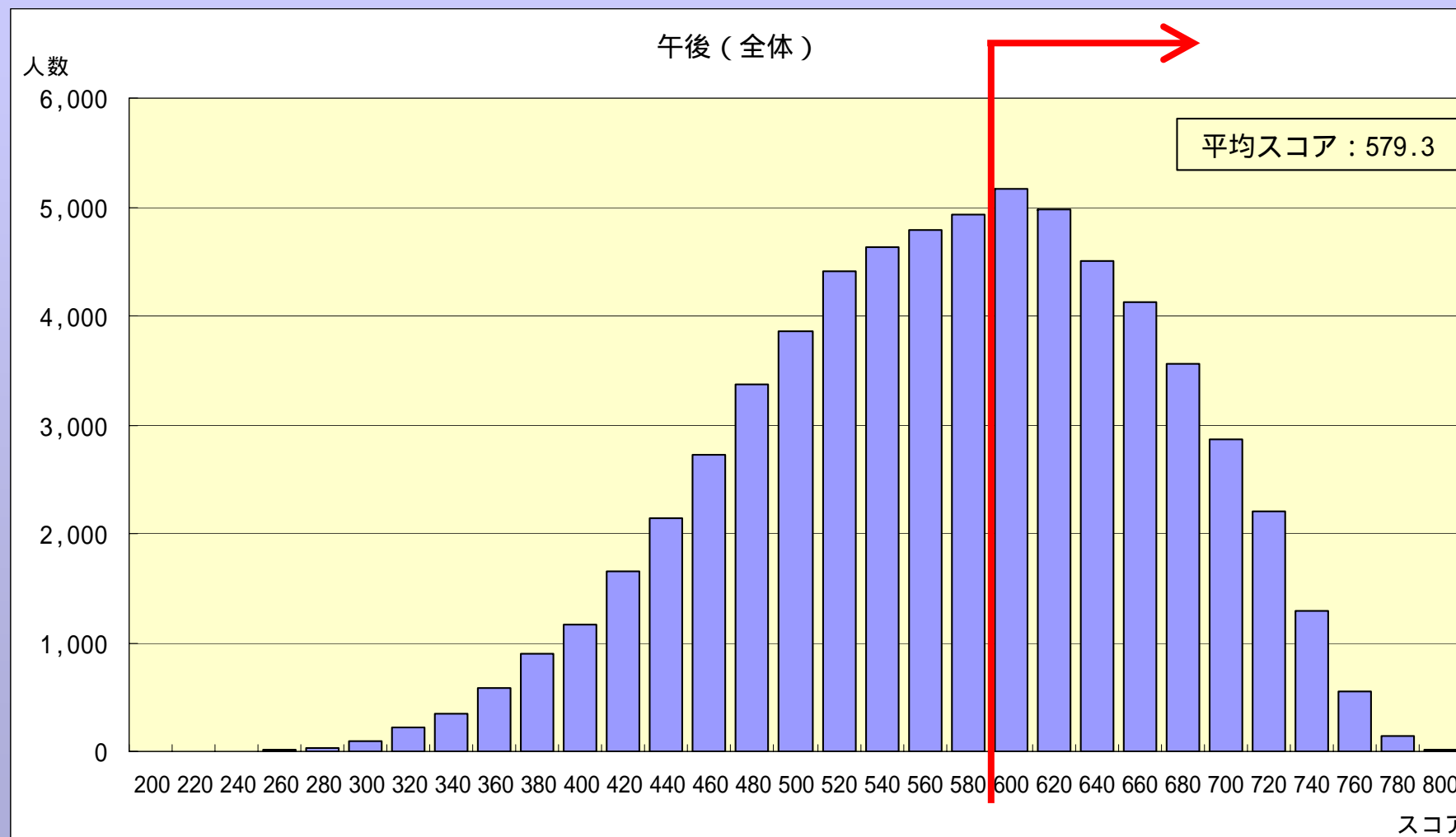


午前試験結果の講評

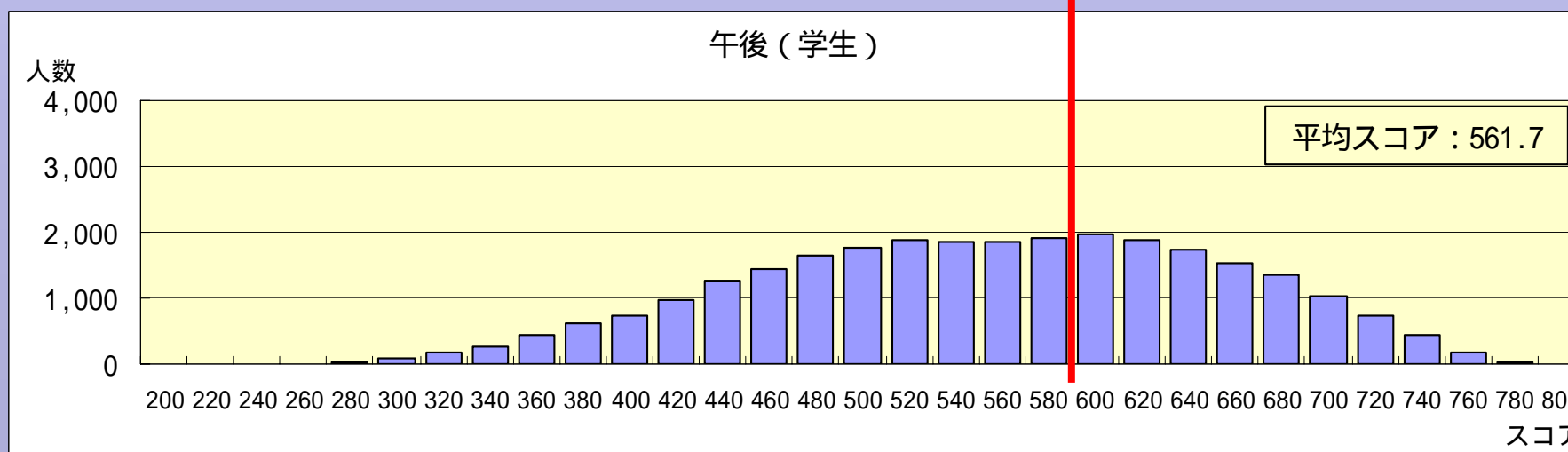
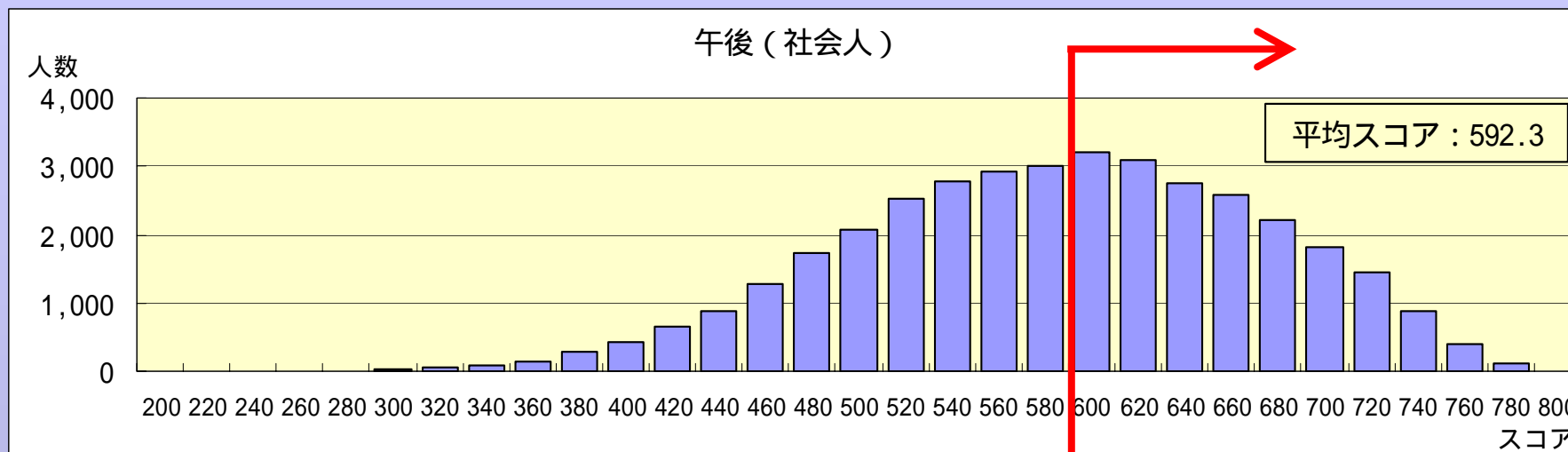
- 全体の正答率はほぼ例年並
- 分野別では4分野とも60%前後の正答率



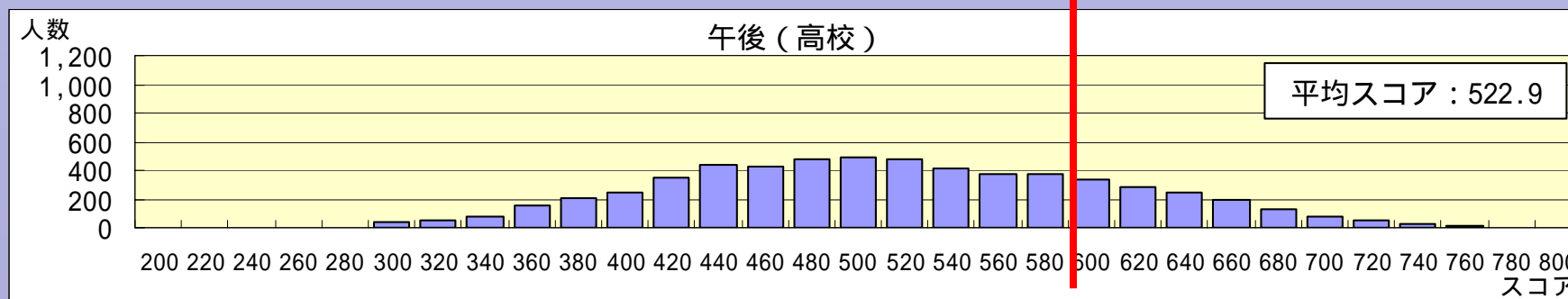
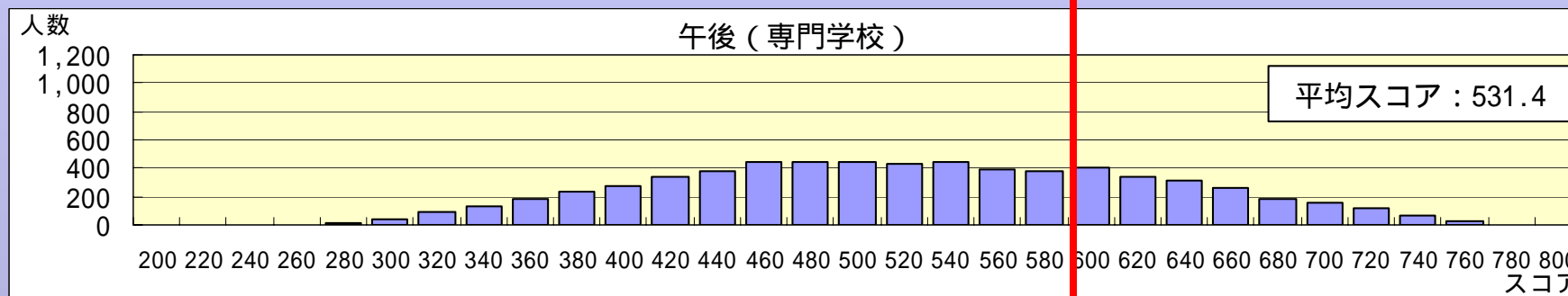
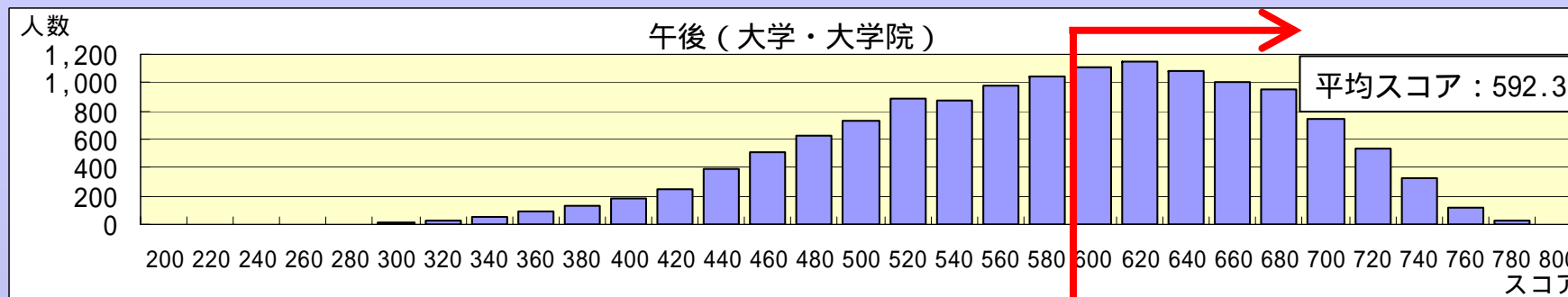
午後試験のスコア分布(全体)



午後試験(社会人/学生・生徒)



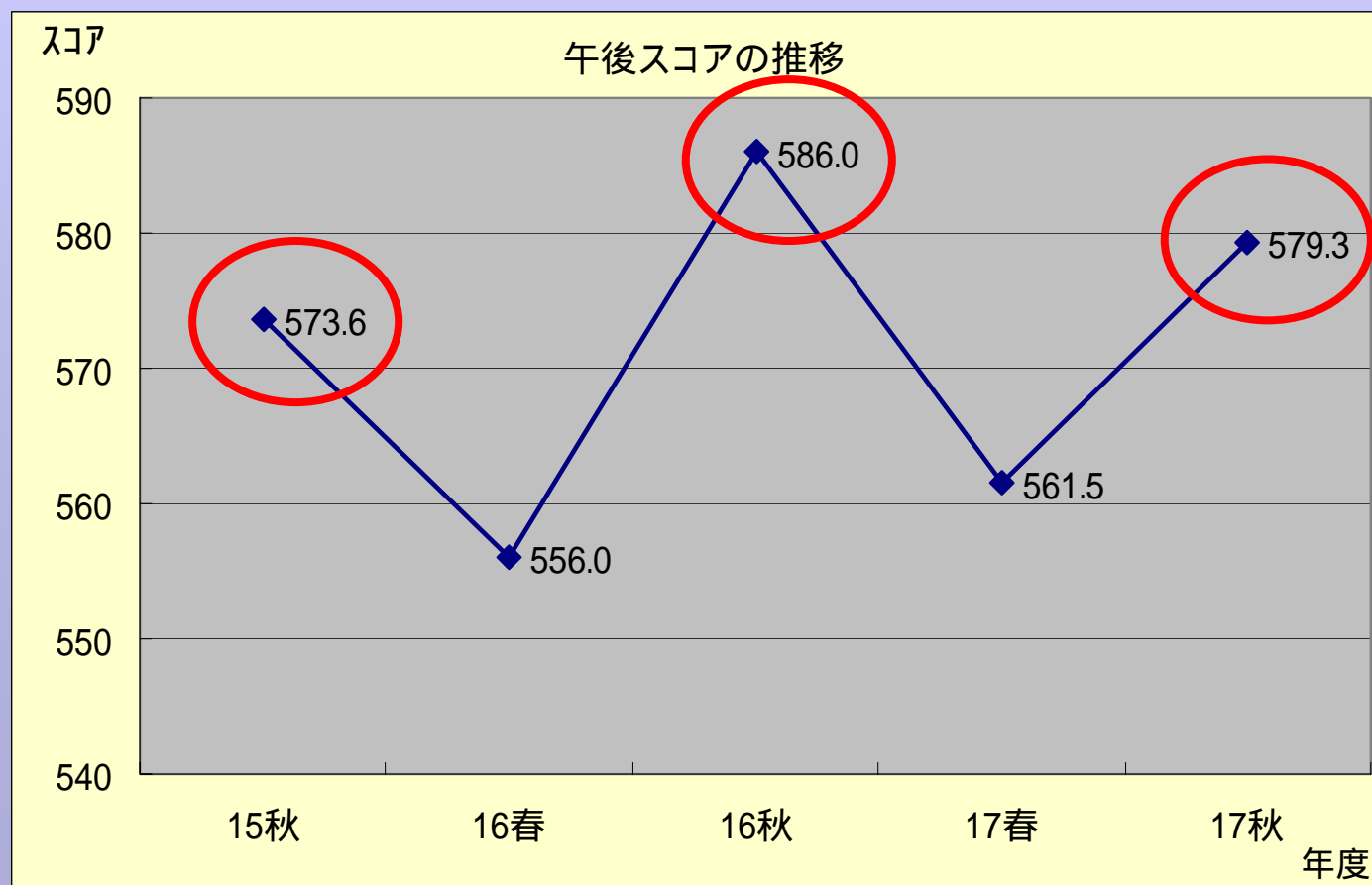
午後試験 (大学生/専門学校生/高校生)



午後試験について

全体としては例年並

■ 過去5回の試験での平均スコアの推移



各問の概要(問1～4)

- 問1: EUC(表計算)
 - ルールのワークシートへの埋込み
- 問2: 仕事とコンピュータ
 - 個人情報の取扱い
- 問3: EUC(データベース)
 - ワークシートからデータベースへの移行
- 問4: システム環境整備と運用管理
 - ADSLサービスの導入

各問の概要(問5～7)

- 問5: 基幹業務システムとのかかわり
 - 業務要件とシステム仕様
- 問6: 仕事とコンピュータ
 - 業務要件を満たす処理手順の設計
- 問7: EUC(表計算)
 - シミュレーションと意思決定

以下, 問3, 6, 7について取り上げる。

問3 P.1

- 設問2：複数の候補キーの中から，主キーとして適切なものを選択する。
 - 候補キーと主キーとの違い
 - 主キーの選択：業務に関する理解が必要
- 設問3：データベース中のレコード数

問6 P.5

- 設問2 : データベーステーブルのキー
 - 業務に関する理解
- 設問3 : DFDの穴埋め
 - 処理要件
 - テーブル間の連携
- 設問4 : 処理手順の構築
 - 決定表の初期化部
 - 一時ファイルの使用

問7 P.11

- 設問1：階層構造(決定木)の理解
- 設問2：階層構造の2次元空間(ワークシート)へのマッピング
 - 抽象的構造の理解と, その表現

結果を受けて

- 全体としては例年並といいつつも・・・
- 基本概念の理解
 - データベース
 - ネットワーク
- 状況記述の理解
 - 各種表記法による表現
- 抽象的概念 / 構造の理解とその表現

ご静聴ありがとうございました。

独立行政法人 情報処理推進機構
情報処理技術者試験センター
<http://www.jitec.jp>